

ダイワコーポ

26年卒むけ説明会

座談会や疑似体験

ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）は、2026年卒業の学生を対象にした会社説明会を24年12月～25年1月に計3回開催する。既に申し込み受け付けを開始している。

部署横断の若手社員組織「和く和くプロジェクト」が中心となって企画。今回は自社社員の働き方を通じてリアルな物流現場の様子を伝えるため、「物流倉庫の仕事疑似体験を含むプログラム」（12月4日、1月15日）と、「社員との座談会を中心としたプログラム」（12月18日）を行う。



12月4日と1月15日は、アワーズイン阪急大井町（品川区）を会場に、レゴ

ブロックでの仕事の疑似体験、現場経験の豊富な営業所長や若手社員による座談会、選考の流れの説明などを行う。

12月18日は渋谷駅直結の渋谷ストリームホール（渋谷区）を会場とし、営業所や営業本部がブースを設置して座談会形式で実施。更に、複数の営業所をまとめるブロック長や、ICT（情報通信技術）ソリューション担当者が登場し、仕事の魅力や倉庫内の機械化・システム化などについて若手社員組織が企画（25年卒業生向け説明会）

話す。また、曾根社長も求める人物像や社会人として必要なことなどを伝える。

和く和くプロジェクトメンバーは今回で11代目。26年卒採用に向け、7月にメンバーを決めてプロジェクトを発足させた。学生に入社後のイメージを具体的に持つてもらえるよう自社の

雰囲気や伝わるプログラムを構成するなど、これまで入念な準備を重ねてきた。

同社では「当社は若手・女性など多様なメンバーが活躍しており、座談会を通じて働く環境など具体的な質問にも答えたい」としている。

（吉田英行）